

～卒業生からの便り～ (第1通目)

この新コーナーでは、別科卒業生から届いた嬉しいニュースをお届けします



記念すべき第1通目は別科に留学して夢を掴んだ先輩からの便りです。今回はインタビューで仕事のこと、別科のことを色々とお聞きしました。卒業生の近況をお楽しみください！



張 甫成(台湾)

2015年秋から半年間交換留学生として大阪国際大学留学生別科に在籍。明るく元気な人柄で別科ではムードメーカー的存在だった。特技はマジック。別科で半年間日本語を学習後、台湾の大学に戻り、卒業。そして夢だった航空業界、日本での就職を実現した。夢の実現の背景には日本留学と決して諦めないという強い志と努力があった。



日本での就職おめでとうございます！今どんな仕事をしているか教えてくださいませんか？



関西国際空港でグランドスタッフをしています。ビジネスクラスのお客様の案内をしたり、搭乗口でお手伝いが必要なお客様のサポートをしたり、搭乗口では日本語・英語・中国語でアナウンスをしています。

多岐にわたる仕事を任されていますね。語学という張くんの強み活かされていますね。

新人なので、まだまだです。先輩方は英語が本当に上手で、休日はもっぱら英語の勉強をしています。今の職場にはフィリピン、ニュージーランド、韓国など様々な国籍の人がいるところが良いです。仕事は基本的には日本語を使用しています。上司や先輩はとても優しく色々なことを教えてくれます。私は空港の仕事が本当に大好きです。ここ日本で、日本語、英語、中国語、台湾語といった言葉を使って仕事をしています。私は人とのコミュニケーションがもともと好きです。この前サポートしたお客様に「ありがとう」って言ってもらえて、本当に嬉しかった。日本人ではないけど、日本で働いているので、海外から日本に来る人に最初に関わる自分が日本の印象を決めることもあります。日本はあたたかくて優しい国だと思ってもらいたいです。

それは良いですね。仕事では別科で学んだことは役立っていますか？

OIUで勉強して本当に良かった。敬語が特に役立っています。日本で働く中で1番不安だったのは、自分の日本語が通じるかどうかです。日本人の先輩に敬語を褒められてとても嬉しかった。自信もつながりました。

そもそもなぜ今の仕事、そして日本で働きたいと思いましたか？

もともとは台湾の大学を卒業してそのまま台湾で就職しようと思っていました。でも OIU に留学して、アルバイトも経験して、日本は本当にいい国だと思いました。日本語学科でせっかく勉強したんだから、日本語を使う仕事、しかも日本で働きたいと考えるようになりました。航空業界で働くことは昔からの夢でした。でも、大学1年生の時、航空業界で働く先輩の話聞きに行った際に、私は身長が160cmと小さいので、航空業界で働けるかどうか先輩に聞くと先輩からはその身長では難しいと言われました。でも、OIU に留学したら航空ボランティアがあり、航空業界に詳しい阪口先生がおられ、色々アドバイスをいただきました。

なるほど、夢を諦めない強い思いが、留学中に色々なきっかけになる出来事を引き寄せたのかもしれませんね。では、ズバリ大阪国際大学留学生別科の魅力は何だと思いますか？

大阪国際大学留学生別科の授業は本当にいい授業。私の日本語はとても上手になったので、帰国後みんなが驚きました。日本の学校の授業は静かでルールが厳しいイメージだったけど、そんなことはなかった。先生たちは授業を工夫していて、日本語だけじゃなくて、日本文化も勉強できました。そして、ボランティアやいろいろな交流会があり、OIU で過ごした留学生活は全部忘れられない記憶です。

それでは、最後に日本で就職を目指している別科の後輩へメッセージをください！

日本語はもちろんですが、英語も勉強して下さい。日本で働くなら、日本語だけでなく英語も必要です。そして、語学だけでなく、自分の長所を考えて探して、それをみんなにみせてください。自分にしかできないことを考えて、実行する。すると、本当に夢は実現します。

素敵なお話をありがとうございました！引き続き仕事を頑張ってくださいね。

